

## 新型コロナウイルス感染症について

- ・昨年（2020年）1月15日に国内初の感染者が確認されてから約1年5ヵ月が経ちました。
- ・未だに終息の目途はたたず、市民の不安は募っています。
- ・この間、行政の皆さんが初めて直面する事態に懸命に努力されていることは承知しています。
- ・しかし、様々な市民の声から、いかに情報が伝わっていないか、また、市民の求めている情報が提供できていないか、丁寧な説明が欠けているのではないかと、痛感する毎日です。

### （1）我孫子市の感染状況について

#### ア．市の感染状況の正確な把握・評価・公表の必要性

- ・感染症に対しては、「正しく恐れる」ことが基本。
- ・感染状況をエビデンスに基づき正確に把握するために、国や県ではいくつかの感染状況の項目を設けて数値化し、それを指標に基づいて評価し、公表しています。
- ・市民からは、千葉県の感染状況は、市のホームページで知ることができるが、県内各自治体の感染状況には大きな差があり、県として一括りにされた感染状況ではなく、我孫子市がどの程度の感染状

況にあるのか知りたいとの声を多数いただいています。

- ・市民に感染状況を正しく認識していただき、感染防止への協力を得るために、また、市民の不安を少しでも軽減するために、
- ・市として、我孫子市の感染状況を正確に把握し、評価し、公表する必要があると思います。市の見解をお聞かせください。

### イ. 感染状況の把握方法

- ・感染状況を正確に把握するために、千葉県が行っている方法を活用してはいかがでしょうか。
- ・県では、政府が設定した項目に県独自の項目を加えて6項目の感染状況(※)に該当する数値を入れ、その数値を指標に沿ってステージⅢ、ステージⅣなどと評価しています。
- ・県と同様に各項目に我孫子市の数値を入れ、それを指標に基づき評価するだけで、感染状況を分かりやすく把握することができます。
- ・また、国や県と比較することで、市の感染状況をより正確に把握することもできます。
- ・是非、我孫子市の感染状況を把握するために県が行っている方法を活用していただきたいと思いますが、いかがでしょうか？

- ・また、それを定期的に公表すべきだと思います。

※6項目の感染状況：

1. 直近7日間平均の新規感染者数、
2. 直近一週間と先週1週間の比較、
3. 10万人当たりの直近7日間合計の新規感染者数、
4. 直近1週間の新規感染者数に占める60歳以上の割合、
5. 感染経路不明率、
6. PCR陽性率

## ウ. 我孫子市の直近の感染状況

- ・現在の我孫子の感染状況を知るために、県の設定した感染状況の6項目に対する我孫子市の数値をお示してください。

- ・また、市の感染状況が現在どのステージにあるのか、お答えください。

## (2) 市内で発生した集団感染について

### ア. これまでの集団感染の検証

- ・これまで市内で集団感染が発生すると、いっきに感染者が急増し医療提供体制等に大きな負荷をあたえました。

- ・今後の感染拡大を防止するために、これまでに発生した集団感染を検証する必要があります。

- ・市内で発生した集団感染の件数、集団感染での感染者数、市内感染者の中の集団感染での感染者の割合、最も感染者が多かった集団

感染の感染者数、集団感染が最も多かった施設等の種別、発生原因、明らかになった問題点等について、お答えください。

#### イ. 集団感染予防のための検査の現状と今後の拡充について

- ・これまで、集団感染を予防するために、発生しやすい施設などへのPCR検査等の実施を要望してきました。
- ・集団感染予防のための現在の検査体制について、また、今後の検査拡充について、お考えをお聞かせください。

#### (3) 医療提供体制について

- ・感染した場合、迅速に適切な医療が受けられるのか、市民は大変心配しています。
- ・県が公表している※「医療提供体制の負荷」の中の病床全体に対する病床のひっ迫具合は、5月19日の時点で32%でしたが6月3日時点では23.2%、ステージⅢは変わりませんが大分数値が下がっています。
- ・また、重症者用病床に対する病床のひっ迫具合は、25.5%でステージⅢでしたが19.1%となりステージⅢ以下になりました。

- ・そして、人口10万人当たりの全療養者数も20.5人でステージⅢでしたが14.49%でステージⅢ以下になっています。
- ・さらに、保健医療圏ごとの病床稼働率を見ると、我孫子市の属する東葛北部保健医療圏の病床稼働率は、5月12日時点で50%以上55%以下の範囲にありましたが、6月2日時点では30%から35%の範囲に下がっています。
- ・市民が感染した場合、入院の必要があれば、速やかに入院できる状況になっているのでしょうか。
- ・千葉県と東葛北部保健医療圏の医療提供体制の現状について、市の認識をお聞かせください。
- ・また、「千葉県は新型コロナウイルスの感染の急拡大で1日の感染者数が700人まで増える事態を想定して病床確保計画を見直し、7日から運用を始めました。」との報道(※2)がありました。
- ・県は病床確保計画をどのように見直したのか。
- ・また、見直しの結果、東葛北部保健医療圏の医療提供体制はどのように改善されるのか、お聞かせください。

(※1)「医療提供体制の負荷」：「千葉県の感染状況等」の中で公表

(※2)病床確保計画の見直しの報道：NHK NEWS WEB(2021.6.7)

## 再質問

・ある市民からのメールには、「保健所を持たない我孫子市は、千葉県の情報に依存するしかないようですが、市の担当者が医療インフラについてどこまで把握しているのか、知っているなら公開すべきだと思います。もし知らないなら大問題だと思います。」と、書かれていましたが、市民のいのちを守るため、また、不安を少しでも軽減するために医療体制について市が知らないでは済まされないと思います。

・分からないのであれば、医療体制の整備を担う県に聞くべきだと思いますが？

### (3) 宿泊療養の状況

・昨年の5月、千葉県は感染症患者の急増に伴い、重症者・重症化する恐れが高い方の入院医療提供体制を確保するため、宿泊施設を借り上げ宿泊療養を開始しました。

・その後、更なる感染者の急増に伴い、宿泊施設を9施設に増やしましたが、今年5月13日時点では6施設に減らし、宿泊者数は3

64人となっていました。

・現在の宿泊施設数と部屋の確保数、宿泊者数、ホテル稼働率、これまでの入所者数と退所者数の累計をお答えください。

・また、宿泊療養中の死亡例もありましたが、県内の宿泊施設の療養体制（健康観察や緊急時の対応、食事等について）をお聞かせください。

#### （４）PCR検査等の検査について

・ワクチン接種が始まりましたが、「集団免疫」と呼ばれる状態になるまでには時間がかかります。

・今後も感染拡大防止のためにPCR検査等の検査は必要だと思います。

・これまでの市内における行政検査数の累計（感染の疑われる者に対する検査と濃厚接触者に対する検査の累計）をお聞かせください。

・また、行政検査以外の市独自の検査数の累計と今後の市独自のPCR検査などの検査の拡充についてのお考えもお聞かせください。

## (5) ワクチン接種について

・新型コロナウイルス感染症の終息の目途がたたない中、市民の最大の関心事はワクチン接種です。

### ア. 高齢者向けワクチン接種状況と終了見通し

・我孫子市では、3月中旬から医療従事者への接種が始まり、4月の配分量約960人分は市内高齢者施設入居者を中心に接種。

・そして、高齢者施設入所者以外の方への接種は、90歳以上の接種が5月17日から始まり、6月6日までの接種回数は概算で7,520回程度見込まれていました。

・直近までのワクチン接種状況をお聞かせください。

・また、政府から高齢者向けワクチン接種を7月末までに終了するよう要請されていますが、我孫子市では、7月1日までに65歳以上の市内高齢者人口の88%の予約枠数を確保しており、更に8月1日までに90.4%の予約枠数を確保していますから、予約状況から接種率を80%と予測した場合、7月末までにはワクチン接種を希望する高齢者への接種は終了すると思われませんが、終了見通しをお聞かせください。

### イ. 今後のワクチン接種の予約について



- ・ 先ず、基礎疾患がある方と高齢者施設などに従事している方の予約についてお尋ねします。

- ・ 「6月18日（金）までに千葉電子申請サービスまたは郵送でお申し込みの方は、7月7日（水）に接種券付きクーポン券を発送予定です。接種券付きクーポン券が届き次第、予約可能です。」と6月16日の広報でお知らせする予定になっています。

- ・ 基礎疾患がある方と高齢者施設などに従事している方については、予約開始通知は発送しないで、クーポン券が届き次第、予約ができるということでしょうか。

- ・ また、60歳から64歳の方は7月12日（月）に接種券付きクーポン券を発送、59歳以下の方は7月中旬から下旬に接種券付きクーポン券を発送予定ですが、この方々についても予約開始通知は発送しないのか？

#### ウ. ワクチン接種に係る情報提供について

- ・ 市は広報あびこやホームページ、SNS、個別通知など様々なツールを活用し情報を提供しています。

- ・ しかし、情報がしっかりと伝わっていません。

- ・ 市は、混乱を避けるため、国からのワクチンの配分量に合わせ

て、年齢を細分化して予約を受け付けています。混乱を避けるため、大変良い方法だと思っていました。

・しかし、65歳以上を同時に予約対象として予約を受け付けている自治体が多いため、「我孫子市は何故予約が遅いのか。」「ワクチン接種が遅いのか。」という市民声が多く聞かれました。

・予約を細分化した理由を説明すると理解していただけるのですが、他市と違うやり方をするのであれば、しっかりと丁寧に説明すべきだと指摘されました。

・これはほんの一例ですが、今後、情報提供については、真意が伝わるように、より一層丁寧に説明していただきたいと思います。

## (6) 千葉県との連携強化について

### ア. 県の対策本部会議のオブザーバーの位置づけ・権限

・新型コロナウイルス感染症が始まった当初から、我孫子市のように独自の保健所を持たない一般市においては、感染情報や医療体制・検査体制などの情報は県頼みで、市内の感染者の発生も県の報道発表で初めて確認するという状況が続いています。

・現状では、感染症対策は県の役割が大きく、県との情報共有や連

携強化を如何に図るか大きな課題です。

- ・ 新知事は、県政ビジョンの第1に「現場主義と対話」を掲げており、県と自治体との連携強化が図られることを期待しています。

- ・ 就任後、県の対策本部会議に自治体の代表者をオブザーバーとして参加させたことは、コロナ対策における情報共有と連携強化を図る第一歩だと考えています。そこでお尋ねします。

- ・ 対策本部会議でのオブザーバーの位置づけと権限をお聞かせください。

#### イ. オブザーバーと各自治体との連携強化

- ・ 県に各自治体の状況を踏まえた迅速で的確なコロナ対策を実施してもらうためには、各自治体の状況を十分把握してもらわなければなりません。

- ・ オブザーバーとして参加する自治体の代表者には自治体の状況や困りごと、課題や要望などを取りまとめていただき、会議で発言していただくなど、県に自治体の状況を伝達していただく役割を担っていただくことを期待したいと思います。

- ・ そのためには、オブザーバーと各自治体との情報共有や連携強化を図る仕組みが必要ですが、そのような仕組みは構築されているの

でしょうか。

・仕組みがないのであれば、市長会などに申し入れて仕組みを構築する必要があると思いますが、お考えをお聞かせください。